

2022年11月25日

各位

東京都千代田区平河町二丁目5番3号
株式会社ガイアックス
代表執行役社長 上田 祐司
(コード番号:3775 名証ネクスト市場)
(連絡先) 執行役管理本部長 野澤 直人
TEL 03-5759-0300

中期経営方針の策定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2023年12月期から2027年12月期を対象とする5ヶ年の中期経営方針（以下、「中期経営方針」といいます。）を承認いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、詳細につきましては添付資料をご参照ください。

記

1. 対象期間

2023年12月期から2027年12月期までの5ヶ年

2. 中期経営方針の概要

(1) 連結業績、株主還元方針

収益性の向上と経営基盤の強化を推し進め、毎年の黒字着地と継続的な配当を目指す。

(2) ソーシャルメディアサービス事業

統合型マーケティング提供へシフトし、年次10%超の売上成長を目指す。

(3) インキュベーション事業

投資パフォーマンスの高い創業時出資、カーブアウトをメインとした事業投資に特化するとともに、web3/DAOを第三の事業の柱とする。

3. 中期経営方針の連結数値目標

(単位: 百万円)

	2023年12月期 中計1年目	2024年12月期 中計2年目	2027年12月期 中計5年目
売上高	2,695	2,970	4,000
営業利益	50	120	600

4. 2022年12月期の連結業績予想

ソーシャルメディアサービス事業については、SNSを活用したマーケティングやプロモーションは引き続き市況が活性化しており、またインフラ保守・受託開発事業についても安定的な受注確保が想定されることから、売上高については、10%程度の増加を見込んでおります。インキュベーション事業については、保有する株式の価値がマーケット環境や市況動向次第で大きく変動する可能性が高いこと、並びに保有方針について発行会社と協議中の株式があることから、適正な業績予測が極めて困難な状況であるため、連結グループとしての業績予想の公表を控えさせていただきます。

以上



株式会社ガイアックス 2023-2027年度 中期経営方針

MIDTERM BUSINESS POLICY 2023-2027

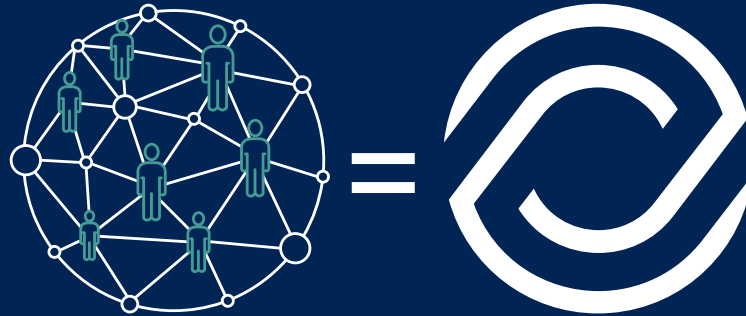
目次

- はじめに
 - ミッション
 - ビジネスモデル・特徴/強み
 - 会社情報
 - トップメッセージ
- 中期経営方針
 - これまでの振り返りと今後の経営方針
 - 中期経営方針の業績目標・施策
 - 今後の株主還元方針
- 中期経営戦略
 - ソーシャルメディアサービス事業の課題と方針
 - インキュベーション事業の投資注力分野:web3/DAO
- APPENDIX
 - 事業の構成、投資先紹介
 - 取り巻く環境

GAIAX MISSION

人と人をつなげる

EMPOWERING THE PEOPLE TO CONNECT



ガイアックスは、人と人をつなげるため、
ソーシャルメディアとシェアリングエコノミーに注力し、
社会課題の解決を目指すスタートアップスタジオです。

人と人がつながる社会とは

世界中の誰もが、他人のことを自分のことのように感じ、
互いが互いを自然と助け合う社会



現在の社会課題



環境汚染



大量生産・大量消費



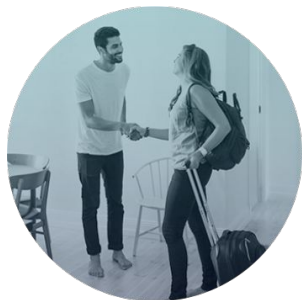
大量廃棄



飢餓・貧困

資本主義の枠組みでは解決できない課題

社会課題に対する取り組み



共通リソースの共有



共助による社会インフラ



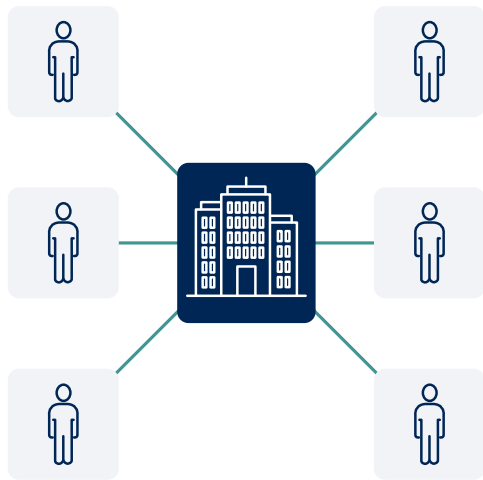
資源の再分配



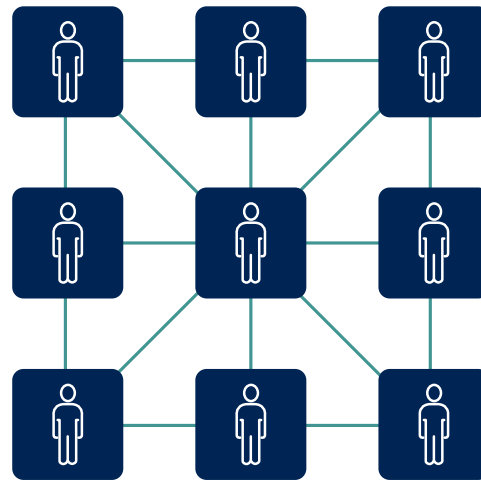
コミュニティの創生

シェアリングエコノミー、web3/DAOで持続可能な社会を作る

持続可能な「フリー・フラット・オープンな社会」の実現



Web2.0(プラットフォーム)

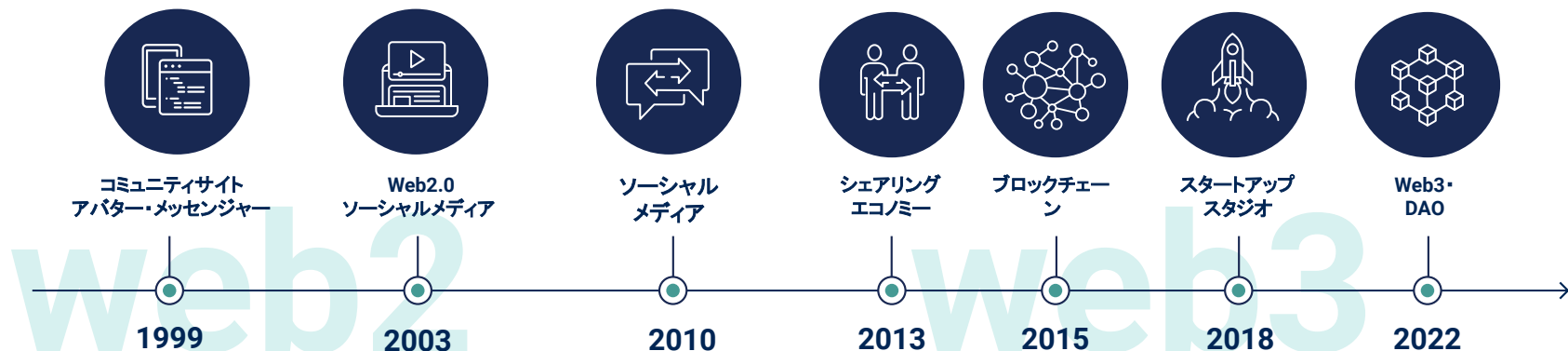


web3(デジタルトラストグリッド)

テクノロジーの活用で、個人が中心の自律分散型社会がこれから実現

フリー・フラット・オープンな社会を目指して

SNS、シェアリングエコノミー、web3と、
時代に合わせたテクノロジーを活用し、各種事業・サービスを創出



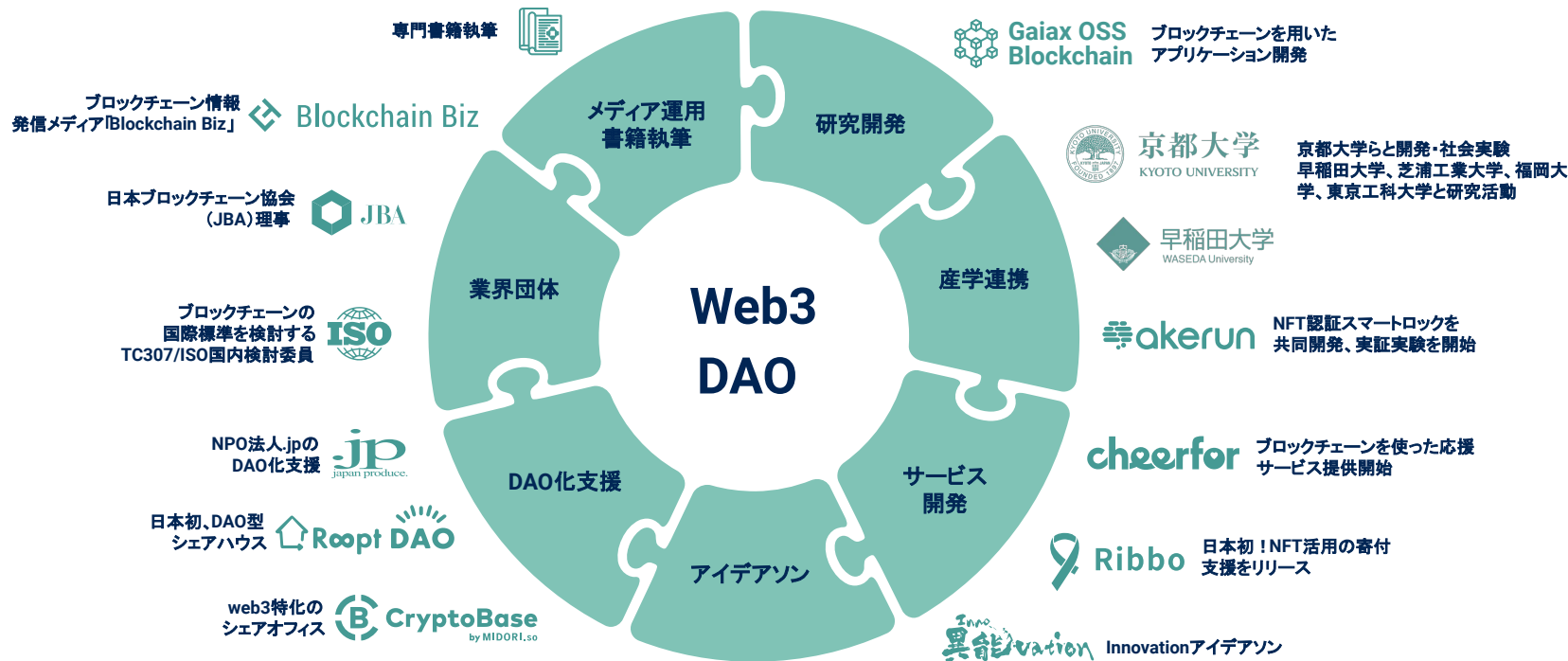
サービス・
事業・法人



提言

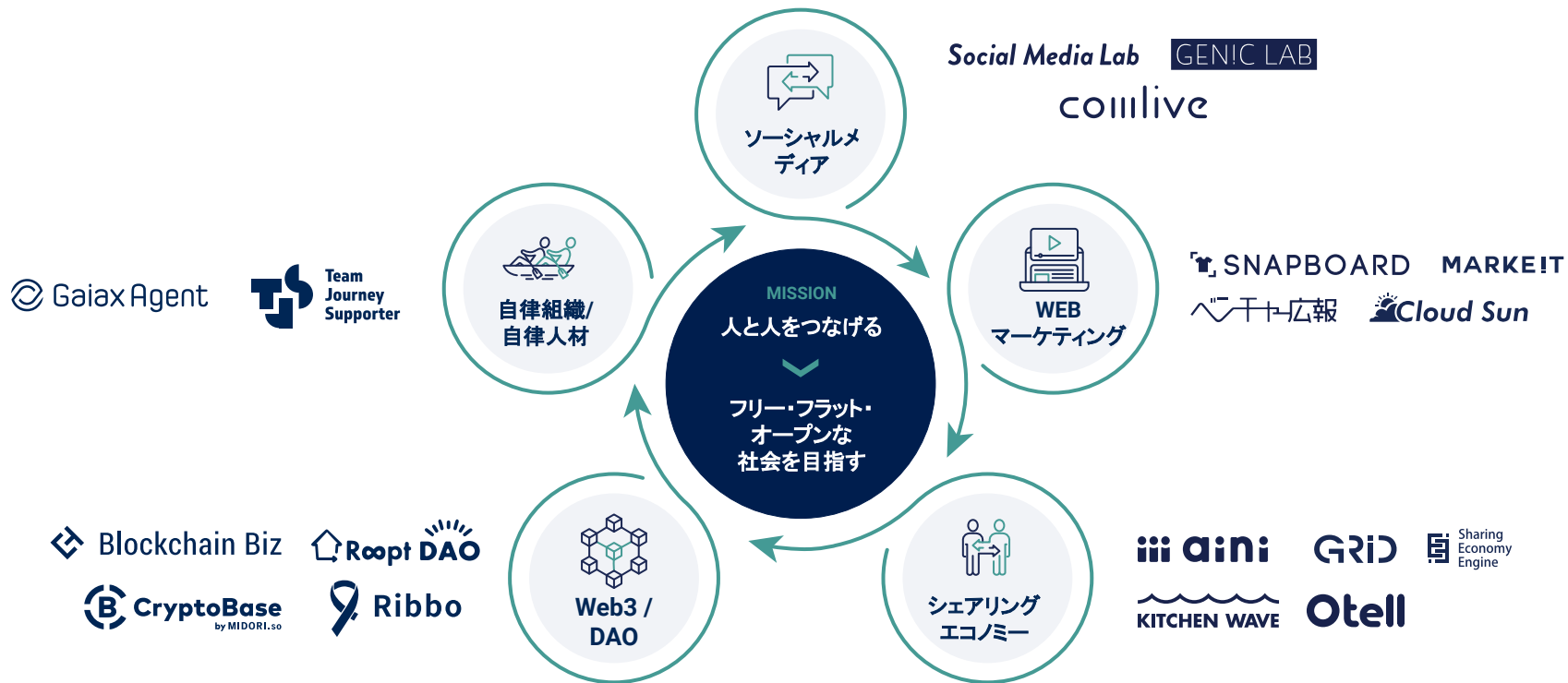


非金融分野におけるブロックチェーン活用の研究開発・社会実装に特化



※ DAO: Decentralized Autonomous Organization (分散型自律組織)

フリー・フラット・オープンな社会を目指す



将来の市場成長を見据え、特に注力している事業領域

最先端のテクノロジー・市場分野を通じて「人と人をつなげる」を加速させるため、
生活者同士の情報や感情を共有できる **ソーシャルメディア領域**、
モノや時間を共有できる **シェアリングエコノミー領域**、
ブロックチェーン技術により自律駆動する社会を実現する **web3・DAO領域**に注力しています。



SOCIAL MEDIA

ソーシャルメディアコンサルティング、クリエイティブコンテンツ制作、運用代行やビッグデータリサーチ、投稿監視までワンストップソリューションを提供しています。



SHARING ECONOMY

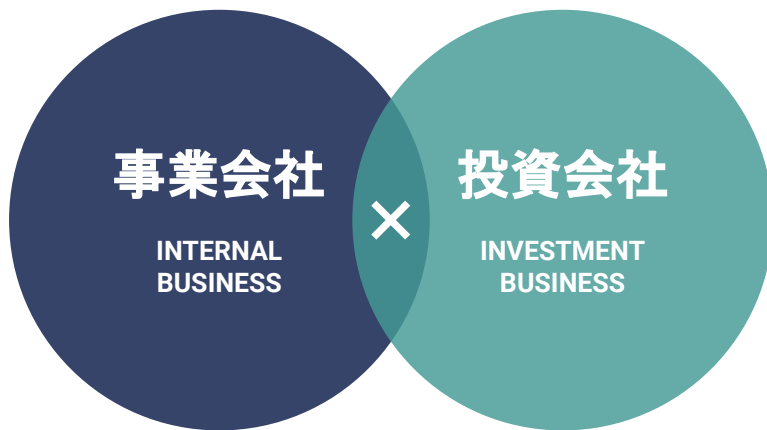
シェアプラットフォームの受託開発から運用まで、またガイアックスのスペースシェア、体験シェアの BtoC 向けのプラットフォームを提供しています。



web3・DAO

プラットフォーム主体ではなく個人がより主体となったプロダクトの開発や、民主的な組織運営を可能とするDAO(自律分散型組織)化を推進するコンサルティング・研修を提供しています。

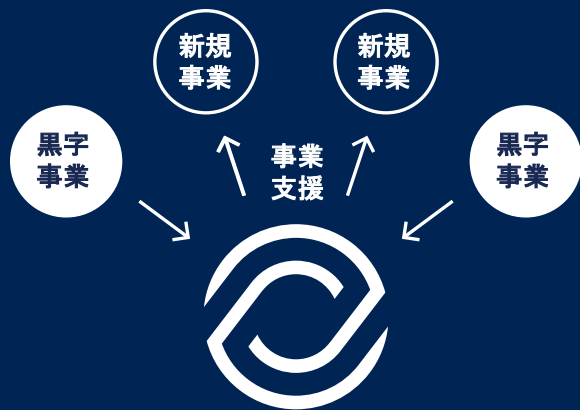
社内事業と投資事業がハイブリッド型になった
カーブアウト機能を持つ独自のビジネスモデル



GAIAX INTERNAL BUSINESS

事業会社

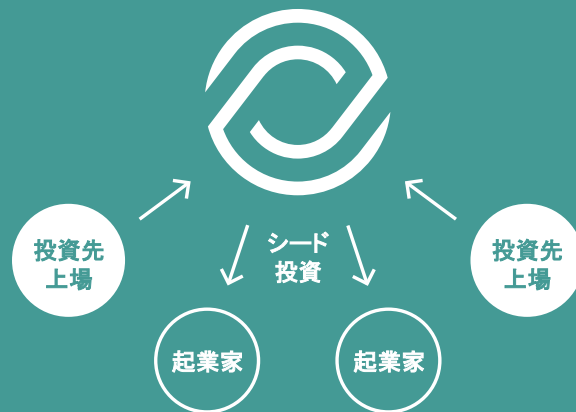
ソーシャルメディアマーケティング事業や
シェアリングエコノミーサービス事業などによる、
事業収益（インカムゲイン）を目指します。



GAIAX INVESTMENT BUSINESS

投資会社

社内外のスタートアップ企業へ投資し、
投資先企業が上場した際に利益を得る
投資収益（キャピタルゲイン）を目指します。



社内から連続的に起業家を輩出

これまで、投資先の卒業生の創業企業から4社が株式公開



2015年9月 東証マザーズ上場

時価総額 40億円
持分比率 7.56%



2015年10月 東証マザーズ上場

時価総額 81億円
持分比率 17.86%



2020年3月 東証マザーズ上場

時価総額 20億円
持分比率 41.79%



2021年11月 東証マザーズ上場

時価総額 228億円
持分比率 3.82%

※時価総額および持分比率は新規公開当時のものです。

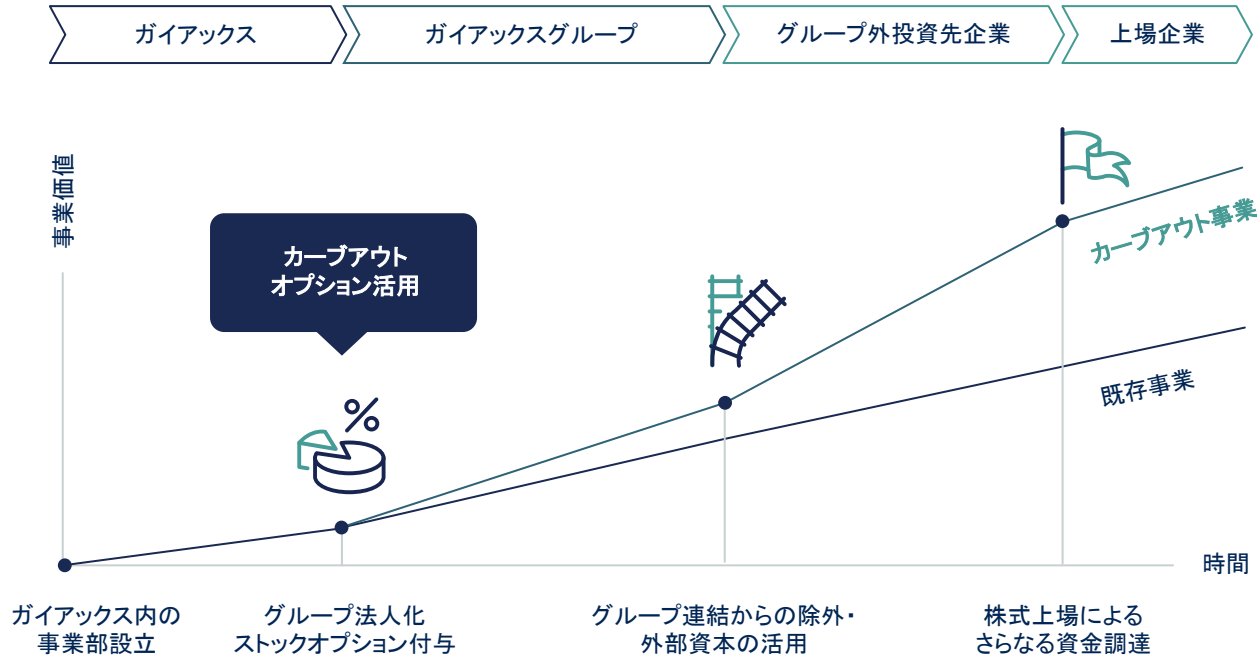


今後、「時価総額 数百億円 × 持分比率 10~30%」を目指す

この実現を目指し、優秀な人材獲得の強化
また、各事業部へのオーナーシップを付与による成長

カーブアウト機能を活用した事業の成長加速

事業単位でカーブアウト(法人化)し、外部を含めたリソースを活用

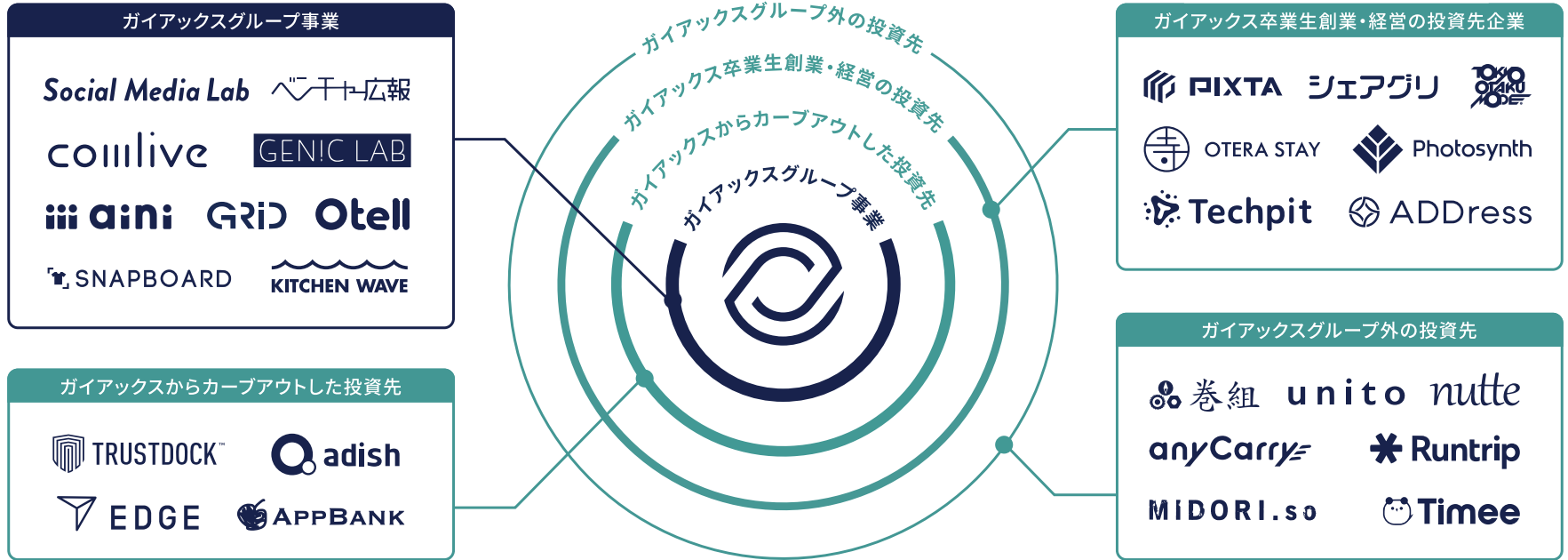


カーブアウトオプション制度活用事例

事業成長を最大化させる取り組みを実施



事業会社と投資会社の「ハイブリッドモデル」

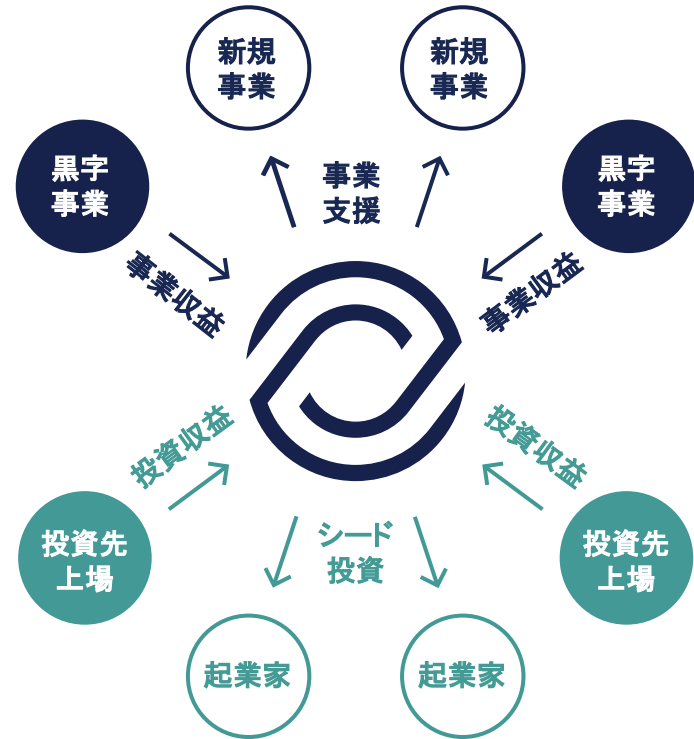


※掲載の投資先は一部です。また、過去の投資先(売却済み)を含みます。

事業会社と投資会社の「ハイブリッドモデル」

社内事業と投資事業から生まれた収益は、
次の起業家の卵たちへと投資されます。

このエコシステムを循環させることで、
起業家が連続的に輩出される
ビジネスモデルを確立しています。



GAIAX IN NUMBERS

事業輩出



6割が起業

新卒入社卒業生の起業割合

新卒入社し卒業した人の6割が起業
する環境です。

事業輩出



通常の100倍の 確率で卒業生が上場

一般的に、ベンチャー企業の1/1000が
株式公開に至れるところ、1/10の高確率で
卒業生が経営する企業が株式公開

GAIAX IN NUMBERS

事業輩出

約40法人設立され、卒業生
かつ当社投資先

4社が上場

(当社インターン卒業生創業、
当社非投資先を含めると7社上場)



GAIAX BUSINESS MODEL

圧倒的な事業立ち上げ経験が、圧倒的な成長経験に

20代成長環境ランキング

(インターネット業界)

★★★★★ 4.9

全6万社の上位1%

openwork

会社評価ランキングOpenWork調べ(2022年)

ビジネスシーンの各方面からガイアックスの
カルチャーを評価いただいています。



「働きがいのある会社」2016
6年連続ベストカンパニー選出



WORK DESIGN AWARD 2021
エンployee・ベネフィット部門賞



HRチャレンジ大賞2022
奨励賞



ダイバーシティ&インクルージョン「D&I
Award」2021
ベストワークプレイス認定



Work Story Award 2021
日経新聞社「正解はここにある」賞オリジ
ナルワークプレイス賞



経済産業省「キャリア教育アワー
ド」2021奨励賞

会社概要

2022年9月末時点

会社名

株式会社ガイアックス
Gaiax Co.Ltd.

従業員数

131名 (連結・正社員)

企業理念

ガイアックスは、「人と人をつなげる」を企業理念とし、人と人とのコミュニケーションの促進や、コミュニケーションを行うサービスや事業の創造に力を注ぎ、世の中全体を思いやる社会の実現に取り組んでいます。

事業内容

- ・ソーシャルメディアサービス事業
- ・シェアリングエコノミー事業
- ・インキュベーション事業

代表者

代表執行役社長 上田祐司

上場市場

名古屋証券取引所 ネット市場
証券コード3775

設立

1999年3月5日

発行株式数

5,147,752株

資本金

100百万円

株主数

2,324名 (2021年12月末時点)

本社

〒102-0093
東京都千代田区平河町2-5-3 Nagatacho GRiD

決算

12月

代表執行役社長 上田祐司ご挨拶

ガイアックスは、1999年の創業時から、インターネットで「人と人をつなげる」というミッションを掲げてまいりました。個人向けウェブページレンタルサービスから始まり、SNS開発・コンサルティング、そしてシェアリングエコノミーへと、インターネット上で実現できる“つながり”の深化に応じて事業領域も拡大してきました。

また、メンバーの自律的な働き方や熱意の尊重は、事業カーブアウトや卒業生出資などの新規事業を育む揺籃として機能し、2018年からはスタートアップスタジオと自称するまでになりました。2022年は岸田内閣が「スタートアップ創出元年」を謳い、引き続き当社への追い風は吹き続けるでしょう。

そして、近年多くの人々から関心を集めているweb3/DAOは、インターネット上で完結する事業組織・コミュニティであり、ガイアックスが目的とする「人と人をつなげる」における新しい地平と確信しております。当社にとっての第三の柱として注力すべき領域と考え、引き続き邁進していく所存です。

今回新たにお示しします「中期経営方針」では、新たな事業の柱となるweb3/DAOへの注力による将来展望のほかに、投資バランスの適正化、毎年の黒字着地、そして配当の実施などの方針を打ち出しております。持続可能な社会を持続可能な経済活動で支えていく当社の取り組みに対して、ご支援ご理解のほどよろしくお願いたします。



目次

- はじめに
 - ミッション
 - ビジネスモデル・特徴/強み
 - 会社情報
 - トップメッセージ
- 中期経営方針
 - これまでの振り返りと今後の経営方針
 - 中期経営方針の業績目標・施策
 - 今後の株主還元方針
- 中期経営戦略
 - ソーシャルメディアサービス事業の課題と方針
 - インキュベーション事業の投資注力分野:web3/DAO
- APPENDIX
 - 事業の構成、投資先紹介
 - 取り巻く環境

当社事業概要



これまでの振り返りと今後の経営方針

ソーシャルメディアサービス事業

SOCIAL MEDIA BUSINESS

売上増加率

僅か

営業利益率

20%



年成長率

10%
以上

営業利益率

20%

インキュベーション事業

INCUBATION BUSINESS

営業投資有
価証券の売却に
依存して不安定



コスト
コントロールと
投資規律の徹底

連結売上・利益・配当

CONSOLIDATED PROFIT & SALES

売上 全社経費込みの利益 配当

不安定

赤字

無配



売上 全社経費込みの利益 配当

安定
成長

黒字

継続的
な配当

各事業セグメントの振り返りと今後の方針

ソーシャルメディアサービス事業

SOCIAL MEDIA BUSINESS

SNS運用代行・マーケティング支援にクリエイティブ提供とデータ解析の専門組織を拡充し、近年は売上が伸長。



統合型マーケティングを提供。データ解析による継続的なコミュニケーションにより売上・利益成長。

年成長率

10%
以上

営業利益率

20%

インキュベーション事業

INCUBATION BUSINESS

投資先の卒業生創業企業から4社が株式公開。カーブアウトからの上場も再現性がある状態に。

社外投資は回収までの年月が長く損失が先行。さらにIPO後の売却時期をコントロールできず、P/L業績が不安定。



投資パフォーマンスの高い創業時出資、カーブアウトをメインとした事業投資に特化。そして、web3/DAOを第三の事業の柱に。

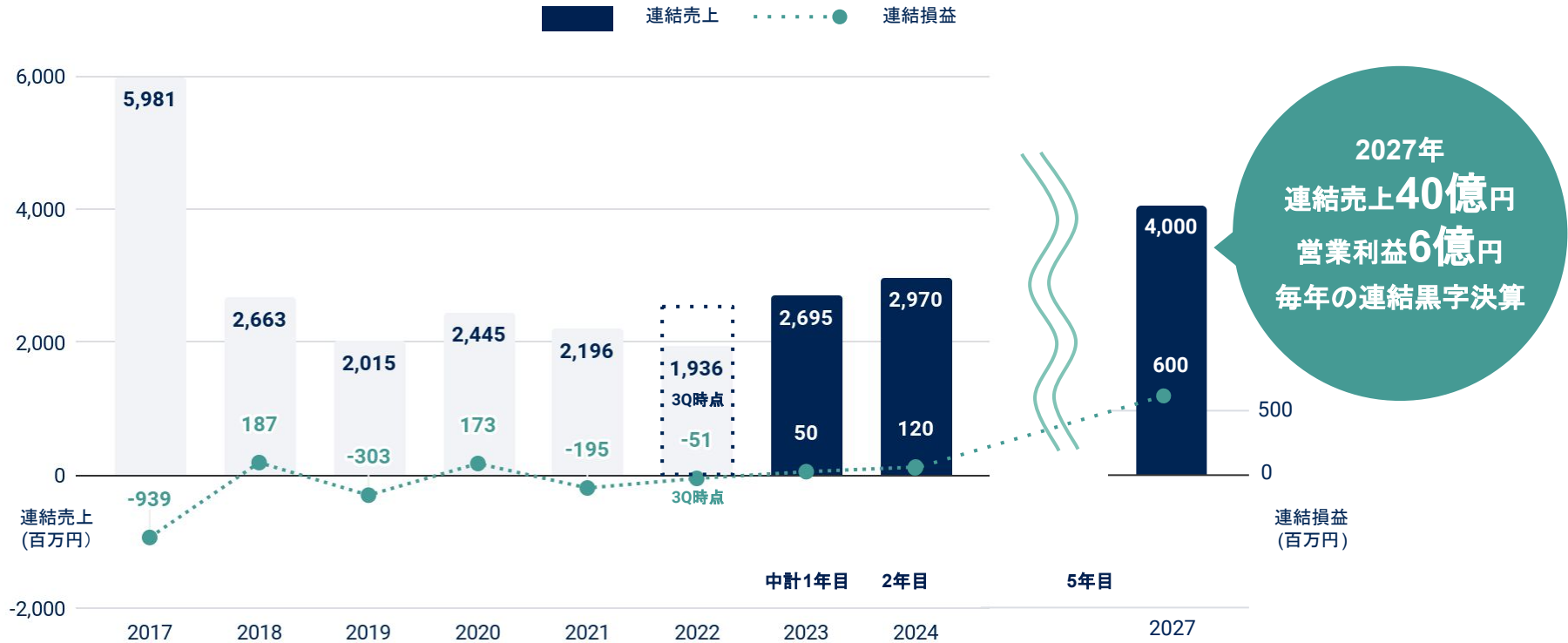
事業投資

web3
DAO

社外投資
時価総額 持ち分比率

数百
億円 10~30
%

2023-2027年度 中期経営方針 業績目標



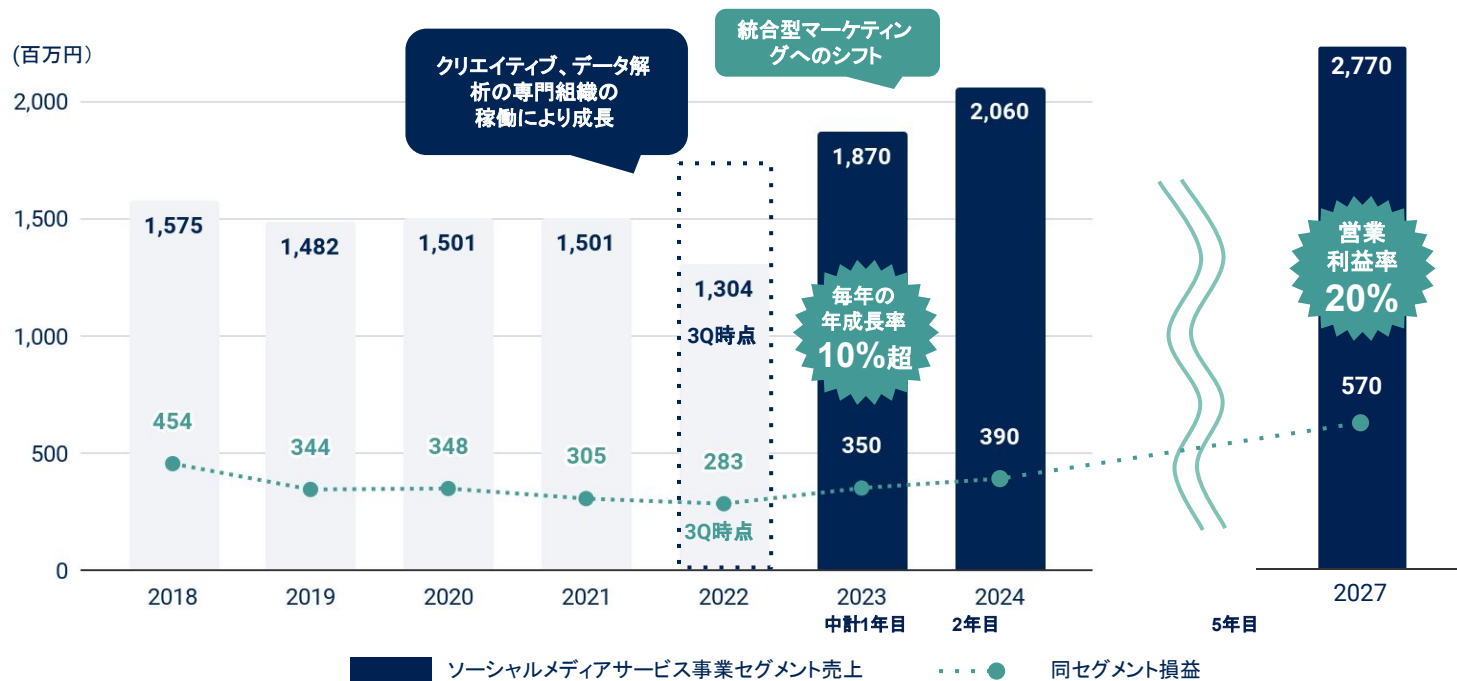
2023-2027年度 中期経営方針 業績目標

2027年:連結売上**40億**円 営業利益**6億**円 毎年の連結黒字決算

単位:百万円	2021年12月期 (前期)	2022年12月期 (今期/3Q)	2023年12月期 (中計1年目)	2024年12月期 (中計2年目)	2027年12月期 (中計5年目)
売上高	2,196	1,936	2,695	2,970	4,000
営業損益	△195	△51	50	120	600
営業利益率	—	—	1.8%	4.0%	15.0%

2023-2027年度 中期経営目標 業績目標詳細

ソーシャルメディアサービス事業セグメントでは、
営業利益率20%程度を維持し、売上を年平均10%超成長



2023-2027年度 中期経営目標 業績目標詳細

インキュベーション事業セグメントでは、
投資パフォーマンスの高い創業時出資、カーブアウトをメインとした事業投資に特化し、
大きなキャピタルゲインを目指す。

時価総額

数百億円

持分比率

10~30%

投資先上場

数社

株主還元方針

重要経営課題

株主への継続的な利益還元

収益性の向上と経営基盤の強化を重要経営課題実現のためのエンジンとして推し進め、継続的な配当を目指します。

2023年12月期
期末配当額(予定)

5円

長期的な
利益成長重視



長期的な成長を
目指しつつ安定配当へ

流動性向上
も目指す

目次

- はじめに
 - ミッション
 - ビジネスモデル・特徴/強み
 - 会社情報
 - トップメッセージ
- 中期経営方針
 - これまでの振り返りと今後の経営方針
 - 中期経営方針の業績目標・施策
 - 今後の株主還元方針
- 中期経営戦略
 - ソーシャルメディアサービス事業の課題と方針
 - インキュベーション事業の投資注力分野:web3/DAO
- APPENDIX
 - 事業の構成、投資先紹介
 - 取り巻く環境

ソーシャルメディアサービス事業の課題と方針

その中でも、主要事業である
SNS運用代行、マーケティング支援の新しい局面

SNSが企業ブランディングのタッチポイント
フォロワーを増やすだけでなく、効果を得たい



統合型マーケティングを提供

- ・SNS以外も含めた効果測定をデータ解析チーム
- ・リッチコンテンツ・クリエイティブ提供のための専門組織



顧客単価および顧客数の増加を通じ、売上・利益の年率0%以上の成長を目指す

SNSを中心とした統合型マーケティングの実施

「SNS運用代行」という単価の低いビジネスモデルから脱却し、
現在はSNSデータ解析、クリエイティブ制作、戦略設計等のアップセルを実施。顧客単価上昇。
今後は、SNSの強みを活かしつつもSNSに頼らず、各サービスを有機的に結びつけた統合マーケティング実施へ。



ファンマーケティングの提供価値増大は、DAOコミュニティ活性化にも寄与

インキュベーション事業の投資注力分野

これからのガイアックスの投資注力分野 web3/DAO



ソーシャルメディア



シェアリングエコノミー

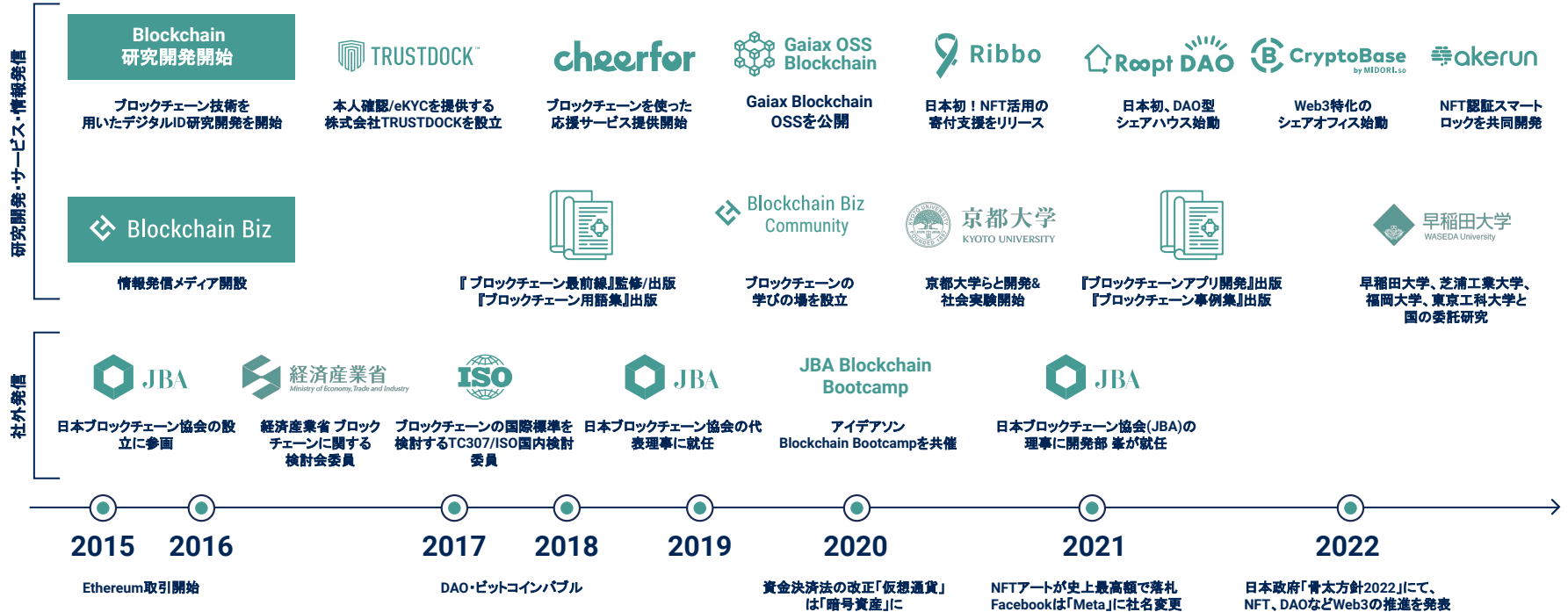


Web3/DAO

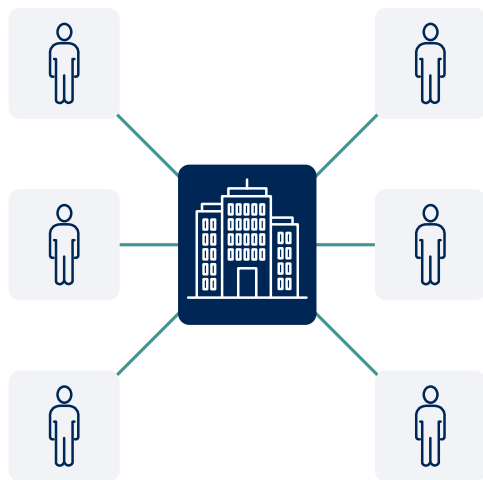
web3/DAO事業をソーシャルメディア、
シェアリングエコノミーに続く第3の事業の柱に

ガイアックスによるブロックチェーンへの取り組み

2015年より、個人が主体となる社会を見据え、非金融分野でのブロックチェーン活用に関する研究・開発への取り組みを開始

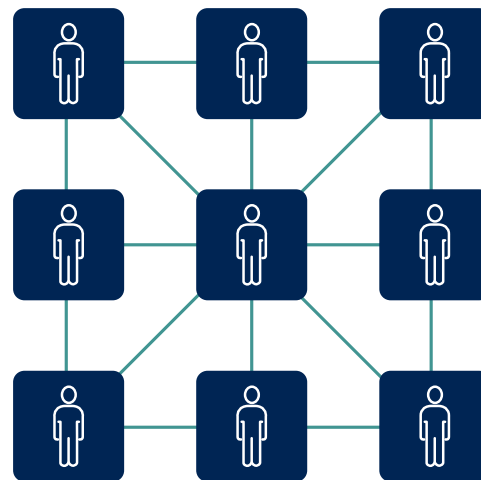


web3/DAOの世界が急拡大する



プラットフォームが
信頼性を担保

web2

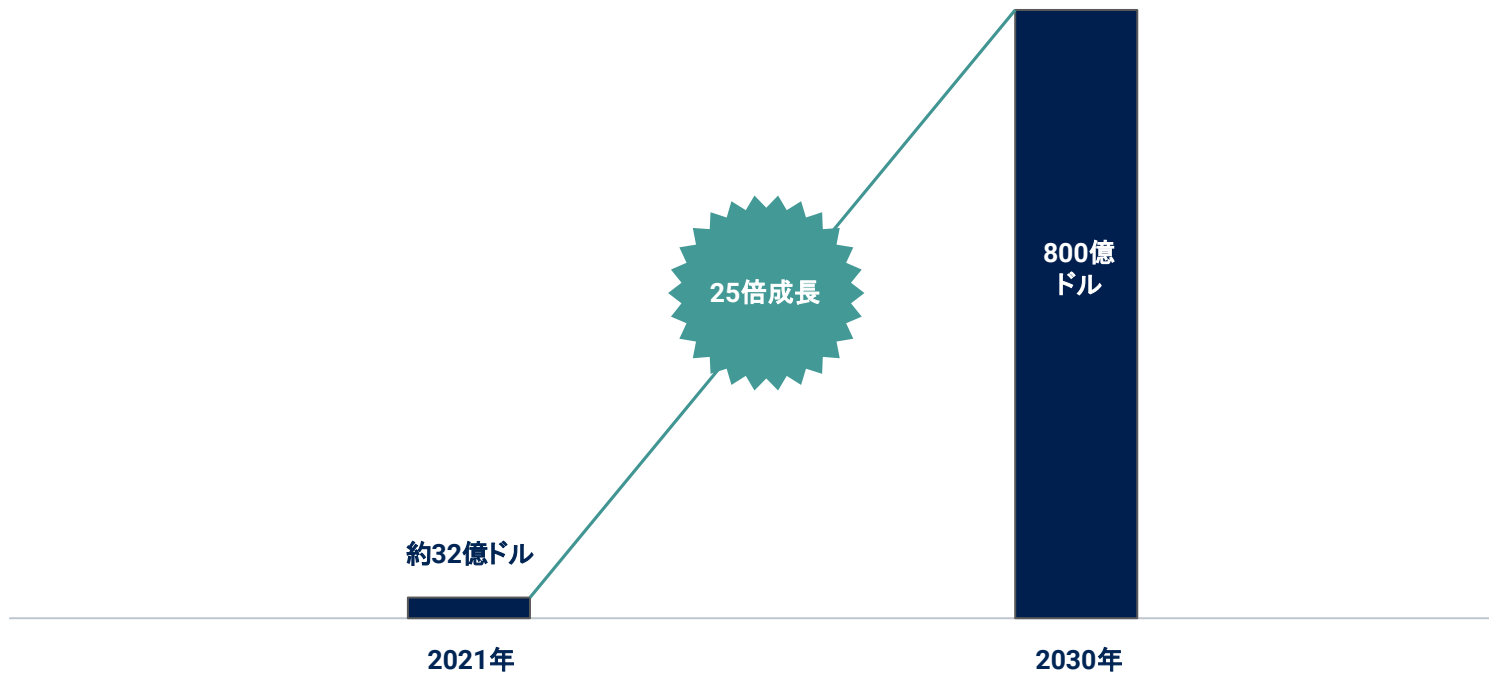


ブロックチェーンが
信頼性を担保

web3

web3/DAOの世界が急拡大する

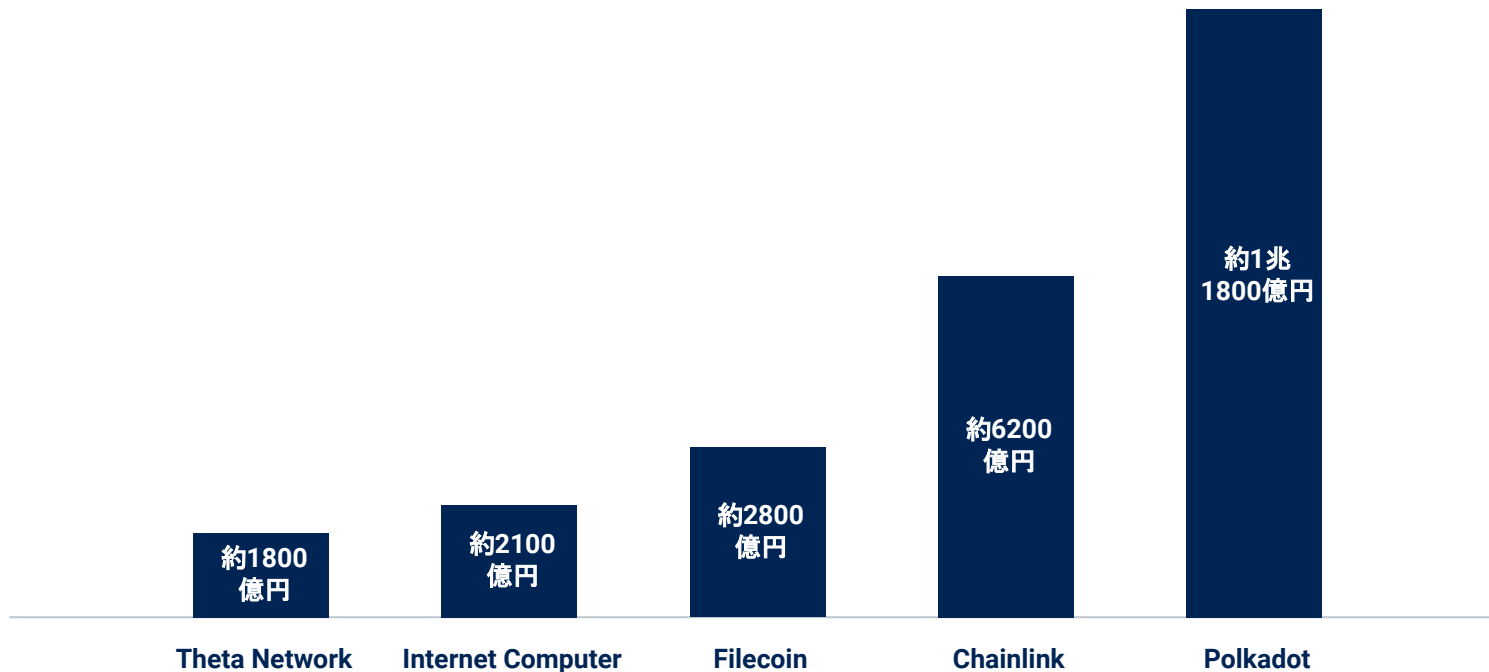
web3市場は、9年間で25倍に成長するとされている



出典:[Global Web 3.0 Market Size to Reach USD 81.5 Billion in 2030 | Emergen Research](#)

時価総額別上位web3トークン

web3トークンの時価総額はすでに1兆円を超えるものも現れている(2022年11月7日現在)



出典: [時価総額別上位Web3トークン](#)

web3/DAOで、従来のビジネスのマーケティングも変化

WEB2

ブログ、SNS

ロコミ



WEB3

ユーザーとの共創

行動(参加)

DAO

Decentralized Autonomous Organization

分散型自律組織

=

多くの人が参画し共創できる仕組み

貢献

報酬

投票



より一層SNSはじめ、ファン・コミュニティのマネジメントが重要に
つまり、ソーシャルメディア活用支援事業の拡大

DAO活用事業・DAO化支援事業の2つを展開



DAO活用事業

**DAOを立ち上げ、それによるトークンの価値成長により
売上利益が拡大**

DAO化支援事業

- ファンのロイヤリティを高める支援
- ソーシャルメディアの活用
- オンラインコミュニティの設計・運営
- コミュニティ・オーガナイザーの提供

**従来のソーシャルメディア運用支援ノウハウと
web3/DAO研究開発の知見を
活用したDAO化支援事業**

WEB3/DAOを、ソーシャルメディア、シェアリングエコノミーに続く第三の柱に



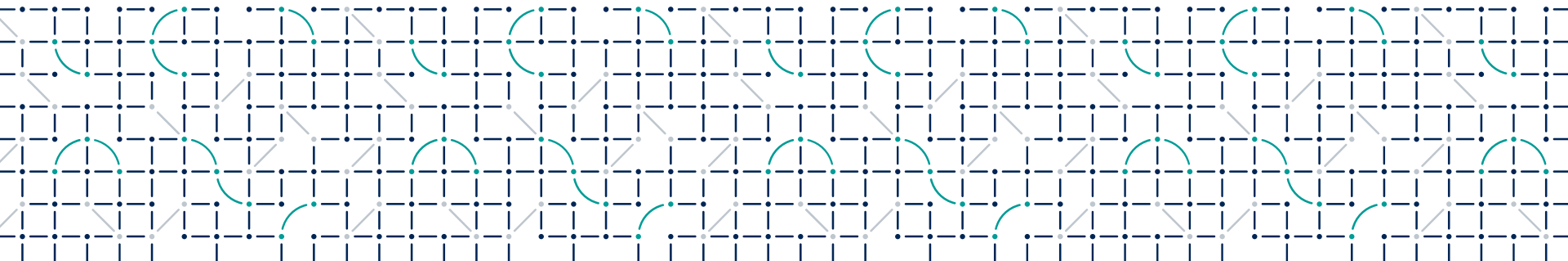
シェアリングエコノミー事業

DAO活用事業およびDAO化支援事業

フリー・フラット・オープンな社会を実現



APPENDIX



ソーシャルメディアサービス事業の構成

ソーシャルメディア領域



GENIC LAB

ベータ+α広報



Webマーケティング支援領域

MARKE!T



ワークスタイル支援領域



command+N

インキュベーション事業の構成

グループ内
インキュベーション事業



グループ外
当社の卒業生が創業・経営企業への投資



グループ外
シェアリングエコノミー企業等への投資

※掲載の投資先は一部です。



インキュベーション事業 現在のパイプライン

アーリーステージ

IPO等

バリュアアップ

グループ内

Otell

ホテルワーク

comlive

オンラインイベント配信

GENIC LAB

インフルエンサーDB

aini

体験のシェア

LOCOTABI

地域体験のシェア

KITCHEN WAVE

クラウドキッチン

CO-NECT

Web受発注システム

TRUSTDOCK

API型本人確認サービス

SHARE CYCLE

シェアサイクル

SPACEE

会議室シェア

Techpit

プログラミング教材

テレスペ

ワークスペースシェア

Runtrip

ランニングシェア

NO SAKI BUSINESS

スペースシェア

anyCarry

シェア型のデリバリー

OTERA STAY

寺社民泊体験

MIDORI.s o

シェアオフィス

つなげと

体験シェアアプリ

SAIRU

マーケティング支援

DogHuggy

ペット版民泊

nutte

縫製マッチング

nesto

オンライン教室

巻組

空き家活用シェアハウス

ADDRESS

住み放題シェアハウス

unito

サブスク住居

Timee

ワークシェアアプリ

Homii

ホームステイマッチング

百戦錬磨

地域民泊

EDGE

社内SNS・働き方支援

acrorea

クラウド型の業務管理

グループ外

Photosynth

2021年11月 東証マザーズ上場

adish

2020年3月 東証マザーズ上場

APPBANK

2015年10月 東証マザーズ上場

PIXTA

2015年9月 東証マザーズ上場

※掲載の投資先は一部です。

投資先の最新トピックス



eKYC本人確認サービスと デジタル身分証「TRUSTDOCK」

2022年10月、東京商エリサーチによる調査において、2年連続「eKYC導入社数No.1」に。



定額制の多拠点ライフプラットフォーム「ADDRESS」

2022年8月5日、Bonds Investment Groupと静岡銀行を共同リード投資家とするシリーズCの資金調達を実施。

投資先の最新トピックス



帰らない日は家賃が
かからない住まい「unito」

2022年10月28日、累計登録者数3万人突破を機に経営体制を強化。



地方の関係人口を創出する
空き家活用「巻組」

2022年6月28日、日本初、DAO型シェアハウス「Roopt神楽坂 DAO」が始動。
学生起業家が「Web3.0」、「ブロックチェーン」上で理想の住まい作り。

取り巻く環境と当社の取り組み

国内外の変化:新しい資本主義、スタートアップ投資、Web3

- サステナビリティ、デジタル田園都市国家構想、新しい資本主義で注目の **シェアリングエコノミー**
- 岸田内閣、2022年「スタートアップ創出元年」、「スタートアップ担当大臣」新設
- 今後5年で起業数、投資額は10倍の政府目標の **スタートアップ**
- 各国政府が成長戦略にする **web3**

スタートアップ



スタートアップ
スタジオ協会

一般社団法人スタートアップ
スタジオ協会を設立
(2021年7月)



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

客員起業家(EIR)の活用
実証事業の事業者へ採択
(2022年7月)

web3・DAO



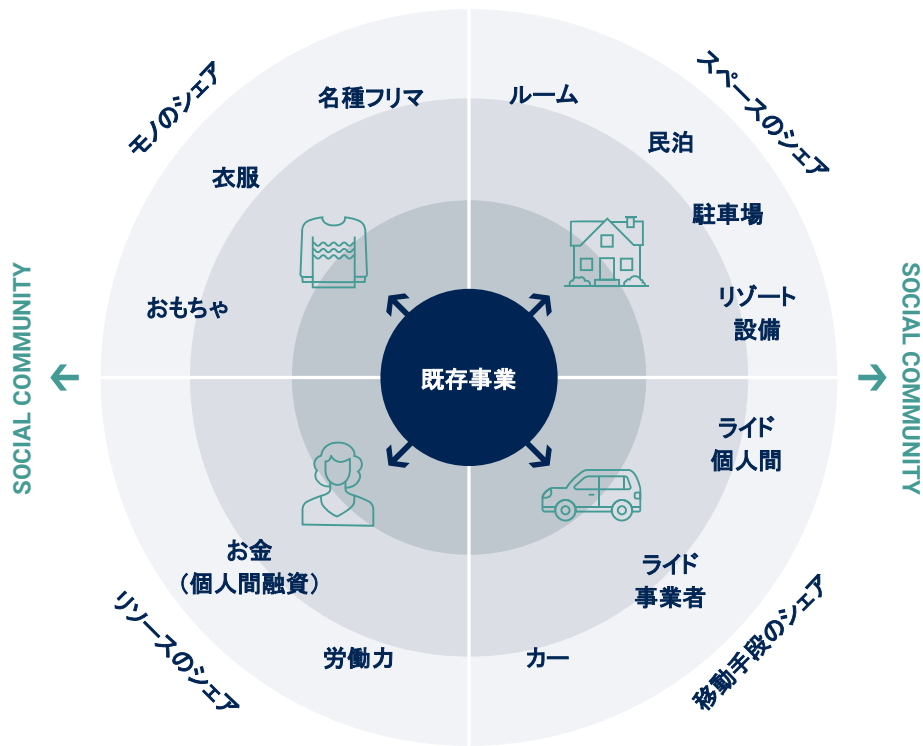
日本初、DAO型シェアハウス
RooptDAOを投資先と提供
(2022年7月)



CryptoBase
by MIDORI.so

Web3に特化したシェアオフィス
「CryptoBase」を渋谷で始動
(2022年8月)

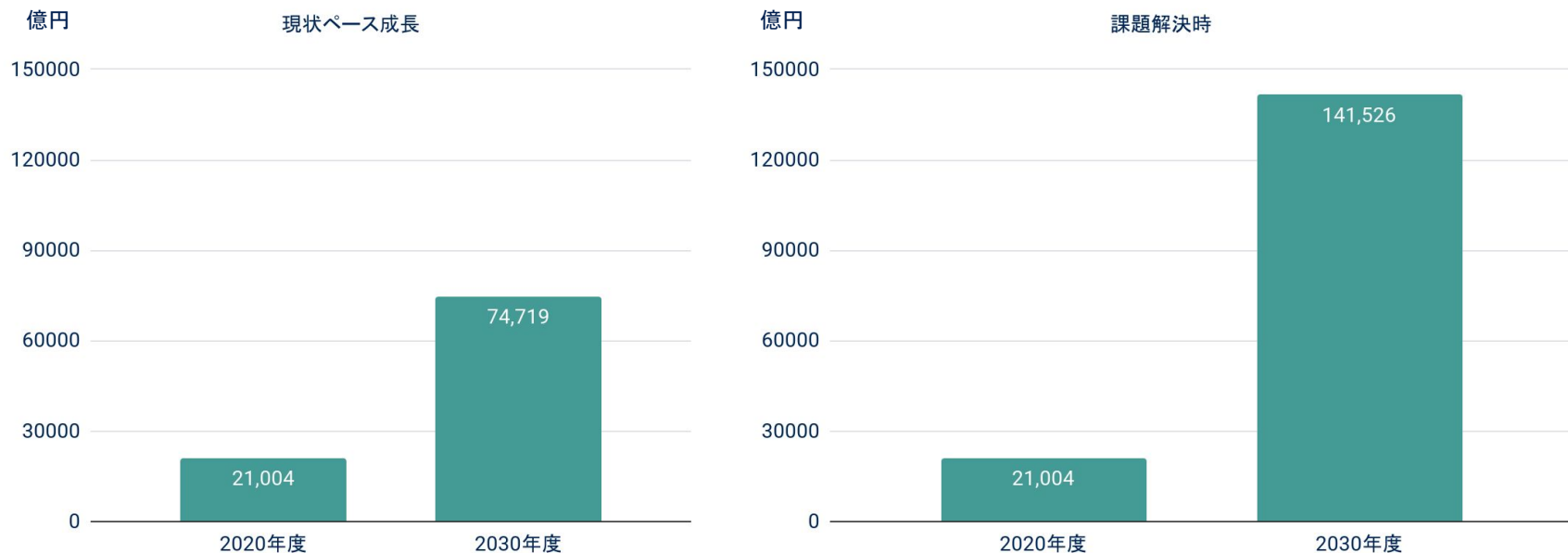
拡大するシェアリングエコノミー領域



※一般社団法人シェアリングエコノミー協会および株式会社情報通信総合研究所調べ

拡大するシェアリングエコノミー領域

法制度の整備が進む等、市場成長の課題が取り除かれれば
国内シェアリングエコノミー市場は 2030年度に14兆円を超える規模に達する見込み



※一般社団法人シェアリングエコノミー協会および株式会社情報通信総合研究所調べ

起業を志向するZ世代



53%

アメリカではZ世代の53%が10年以内に自分の
ビジネスを立ち上げたいとの調査結果。

日本のZ世代においてもスタートアップへの関心が高まっている。

※出典: [FastCompany](#)

注意事項

- 本資料における見通し、戦略等は、弊社を取り巻くさまざまな要素により大きく異なることも考えられます。将来の戦略、業績等につきましては、ご説明申し上げます内容と異なる可能性がございます。
- 本資料の記載内容のうち、歴史的事実でないもの、当社の現在の計画、戦略、見込み等、既に確定した事実でないものはガイアックスの将来に関する見通しおよび計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は、記載の見通しと異なる可能性があることをご了承ください。
- また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に弊社が将来の見通しを見直すとは限りません。
- 本資料の掲載内容の全てもしくは一部につき、当社の事前の承諾なく、私的利用その他法律によって認められている範囲を超えて、複製、改変、転用、掲示、送信、領布、ライセンス、販売、出版等することを禁止いたします。
- 掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた損害等に関し、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。